



東風

〇月〇日

教育目標

『明るく伸びる子』

〇考える子 〇助け合う子 〇やりぬく子
〇じょうぶな子

【めざす子ども像】

豊かな心で自ら学びたくましく生き抜く子

令和元年5月31日発行 第3号



あなたのおかげで

岩内東小学校長 齊藤 信之

「桜が咲いたね」「チューリップもだよ」「あのね、お休みの間にね…」

11日間という長い休みが明け、子どもたちは話したいことをたくさん抱え、瞳を輝かせて登校してきました。

毎朝、子どもたちを出迎えていて、うれしく感じていることがあります。それは、子どもたちの表情が柔らかく明るいことです。友だちとにこやかに話しながら、これから始まる一日を楽しみに登校してきているのが伝わってきます。子どもたちの前向きな気持ちは、心のエネルギーが充足されることから生まれます。ご家族のつながりの中で大切なエネルギーが充電され続けますよう、これからもお願いいたします。

そして、元気に挨拶する子どもたちの姿は、「この子たちのために、今日も頑張ろう」と私たちのスイッチをONにしてくれます。私たち教職員は、子どもたちのおかげで活かされていることを実感している毎日です。

とかく私たちは、何か事があるといつ「あの人のせいで…」と、自分の至らなさや努力不足を棚に上げ、誰かのせいにしてしまいがちです。「遅刻したのは、前の車が遅かったから…」「試合に負けたのは、あの人がミスをしたから…」などと責任を自分の外に転嫁し、言い訳をしてしまいます。ですが、この繰り返しは、結局、自分を一人にしてしまいます。私たちは、人を信じ、人に信じられて、互いに支え合って生きています。「あの人がいてくれたおかげで」と感謝できれば、どれだけ心豊かに穏やかに暮らせることでしょう。

本校の教育目標の一つに「助け合う子」があります。教育は、人格の完成を目指す営みですが、基盤となるのは「やさしさ」だと考えます。誰かを助けたい、誰かの役に立ちたいという気持ちは、勇気を生み出し、行動へとつながります。学んで身に付けた賢さも、鍛えて作り上げたたくましさも、どちらも人のために使われて初めて活きるものです。

「おはようございます」「ありがとうございます」の言葉は、周囲に感謝し、誰かの役に立とうとする第一歩です。本校の子どもたちは、大切なその姿を毎日見せてくれています。私たち教職員も、子どもたちに笑顔で声をかけ、表情を見取り、その心に寄り添う努力を惜しまずに行いたいと思います。

運動会に向けた練習が始まっています。どの子も自分の力を最大限に発揮するとともに、互いに支え合い励まし合って頑張っていく日が続きます。ここでも「あなたがいてくれたから」と感謝し合い、励まし合いながら共に目標に向かう姿がたくさん見られるに違いありません。

6月9日、子どもたちの笑顔と仲間と響き合う姿がグラウンドいっぱい咲き誇ります。どうぞ皆様お誘いあわせのうえお越しく下さい。お待ちしております。